

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1. 事業の状況

定款第4条の定めに従い、次の事業を行った。

(1) 文化財保存修復助成

国内文化財の保存修復助成事業として、26都府県教育委員会から推薦のあった47件の中から、27件について助成を行った。

No.	都道府県	事業名		申請者	助成額
		指定	【美術工芸】		円
1	東京	都	紙本墨画淡彩鍾馗図保存修復事業	栗本 重顕	300,000
2	福井	県	木造阿弥陀如来坐像保存修理事業	坂井市東荒井区	300,000
3	静岡	県	宝林寺増長尊天菩薩・毘沙門天菩薩保存修理事業	宝林寺	300,000
4	三重	県	紙本著色 那智参詣曼荼羅保存修理事業	南河路自治会	250,000
5	奈良	県	能面(8面)保存修理事業	正福寺	300,000
6	愛媛	県	木造阿弥陀如来坐像保存修理事業	小野田部落	300,000
7	高知	県	「旧赤岡町の土佐芝居絵屏風」保存修理事業	赤岡絵金屏風保存会	350,000
		小 計 (7件)			2,100,000
		【建造物】			
8	宮城	県	賀茂神社本殿保存修復事業	賀茂神社	400,000
9	山形	県	鳥海月山両所宮随神門保存修復事業	鳥海月山両所宮	450,000
10	福島	県市	「旧梁川亀岡八幡宮並びに別当寺境域」保存修復事業	八幡神社	400,000
11	茨城	県	無量寿寺本堂及び鐘楼保存修理事業	無量寿寺	350,000
12	栃木	県	日下田邸(染色工房併用)保存修理事業	日下田 正	350,000
13	群馬	市	薬師堂保存修理事業	松倉 紘洋	350,000
14	埼玉	県	平林寺仏殿屋根保存修理事業	平林寺	350,000
15	千葉	県	玉崎神社本殿・拝殿保存整備事業	玉崎神社	500,000
16	神奈川	県	本禅寺本堂保存修復事業	本禅寺	350,000
17	石川	県	無限庵御殿保存修理事業	無限庵	450,000
18	山梨	県	富岡家住宅保存修復事業	富岡 信也	400,000
19	岐阜	県	洲原神社本殿保存修理事業	洲原神社	350,000
20	滋賀	県	波爾布神社本殿保存修理事業	波爾布神社	500,000

21	京都	府	千手寺 開基堂（旧観音堂）保存修復事業	千手寺	500,000
22	鳥取	県	奥田家住宅保存修理事業	奥田 東一郎	500,000
23	島根	県	並河家住宅及び土蔵保存修理事業	(有)並河不動産	450,000
24	岡山	県	高野神社本殿保存修理事業	高野神社	350,000
			小 計 (17件)		7,000,000
			【有形民俗】		
25	富山	県	八尾町祭礼曳山（上新町）保存事業	八尾町上新町曳山保存会	300,000
			小 計 (1件)		300,000
			【その他】		
26	岩手	市	大般若経典保存修復事業	曹源寺	300,000
			小 計 (1件)		300,000
			【在外研修員】		
	申請者		所属機関等	研修テーマ	
27	太田垣 至		国立音楽大学楽器学資料館他	フォルテピアノ（歴史的ピアノ） 修復技術研修、調査	300,000
			小 計 (1件)		300,000
			合 計 (27件)		10,000,000

(2) 芸術研究等助成

文化財の保存修復及び芸術に関する調査研究、成果の発表、国際交流事業の実施等に対する助成事業として申請のあった23件の中から、11件の事業に助成を行った。

No.	事業名	申請者	助成額
	【研究・事業】		円
1	建築学生ワークショップ出雲2019	平沼孝啓	300,000
2	国宝「信貴山縁起絵巻」現状模写研究	手塚雄二	350,000
3	「和楽の美」大江戸歌舞絵巻	味見 純	500,000
4	ミュージック・フロム・ジャパン45周年音楽祭	小出稚子	300,000
5	唐代建築様式の中央アジアへの波及—碎葉鎮城を中心に—	櫛原功一	200,000

6	オーケストラ・プロジェクト2019	小鍛冶邦隆	東京藝術大学 音楽学部 教授	400,000
7	文化財保存修復を目指す人のための実践コース ～ 「工芸」文化財を学び、活用する～	増田勝彦	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構 理事	400,000
8	仁和寺所蔵 国宝「孔雀明王像」の自然科学的基礎 研究	荒木恵信	金沢美術工芸大学 准教授	350,000
9	「3人の会2019」 オーケストラ・トリプティーク 第八回演奏会	水戸博之	オーケストラ・トリプ ティーク 常任指揮者	350,000
10	東京藝大ウィンドオーケストラ フランス公演	栃本浩規	東京藝術大学 音楽学部 准教授	500,000
	小 計 (10件)			3,650,000
	【研究員招致】			
11	外国人招致研究者招致 2019年10月6日～2019年10月12日 パオロ・クレモネージ (Paolo Cremonesi) 氏	早川典子	国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究センター 修復材料研究室長	350,000
	小 計 (1件)			350,000
	合 計 (11件)			4,000,000

(3) 国際協力事業助成

文化財の保護及び芸術文化に関する国際的な協力・交流、人材養成事業など申請のあった
4件の事業の中から、4件の事業に対して助成を行った。

No.	事業名	申請者		助成額
				円
1	敦煌研究院より研究員招致 (王 思朦氏) 平成31年4月1日～令和2年3月31日	王 旭東	敦煌研究院院長	1,000,000
2	敦煌研究院より研究員招致 (崔 強氏) 令和元年10月1日～令和2年9月30日	王 旭東	敦煌研究院院長	1,000,000
3	イタリアにおける被災文化財建築の保護に関する研 究	青木孝義	名古屋市立大学 芸術工学研究科 教授	400,000
4	古代遺跡における日乾煉瓦遺構の保存修復方法の確 立	大村正子	(公財) 中近東文化セン ター附属アナトリア考古 学研究所 研究員	400,000
	(別途支給経費) ○敦煌研究院からの研究員来日・帰国旅費			500,000
	合 計 (4件)			3,300,000

(4) 重点事業助成

① 熊本地震被災文化財救援・復旧支援事業

熊本地震により被災した文化財の救援と修復のために平成28年度から募金を行い、5年計画の4年目になる。

令和元年度は、熊本県教育委員会から推薦のあった5件に対して助成を行った。

No.	都道府県	指定	事業名	申請者	助成額
【美術工芸】					円
1	熊本	市	木造千手観音立像修復事業	立福寺	620,000
2	熊本	市	木造阿弥陀如来立像災害復旧事業	源空寺	800,000
3	熊本		木造愚谷常賢像災害復旧事業	鷲林寺	1,290,000
小計 (3件)					2,710,000
【建造物】					
4	熊本		熊本藩主細川家家臣小笠原家墓所 (常樂寺跡) 災害復旧事業	小笠原 崇	1,560,000
5	熊本		熊本藩主細川家一門細川刑部家墓所 (慈眼庵跡) 災害復旧事業	長岡 立一郎	1,730,000
小計 (2件)					3,290,000
合 計 (5件)					6,000,000

② 昭憲皇太后大礼服研究修復復元支援事業

大聖寺門跡所蔵の昭憲皇太后大礼服は、明治時代の西欧化、社会変化、殖産興業などを表象する大礼服であり、現存する最古の昭憲皇太后所用の第一礼装である。貴重な歴史資料であり、近代日本の象徴的遺産として文化財的価値が高い。

経年劣化著しい大礼服の修復、欠失している部分 (スカート) の復元のため、令和元年度から令和4年度まで募金を行い昭憲皇太后大礼服の研究・修復・復元事業を実施する。

令和元年度は4年計画の1年目であり、下記の助成を行った。

No.	事業名	申請者	助成額
			円
1	昭憲皇太后大礼服研究修復復元支援事業 ①トレイン初期調査 ②トレイン本格修理 (令和元年度分)	昭憲皇太后大礼服研究修復復元プロジェクト実行委員会	1,526,458
合 計 (1件)			1,526,458

③ サールナート（インド）野生司香雪の仏伝壁画保全支援事業

日本画家・野生司香雪は、昭和7年から11年に5年をかけてインドの聖地サールナートの初転法輪寺で仏伝壁画を完成させた。その仏伝壁画は、今では我が国在外の稀有な近代芸術の文化財であり、また日本・インドのみならず世界の人々との日本芸術を介した文化交流の大切な記念碑となっている。

日本画の大壁画も制作から80有余年が経ち、経年劣化が進み剥落が激しく保全措置が必要となり、令和元年度から令和2年度まで募金を行い、仏伝壁画の剥落止め、古写真のデジタル化、壁画デジタル撮影等の保全事業を実施する。

令和元年度は2年計画の1年目であり、下記の助成を行った。

No.	事業名	申請者	助成額
			円
1	サールナート（インド）野生司香雪仏伝壁画保全支援事業 「壁面保全作業（東壁）」	野生司香雪画伯顕彰会	4,200,000
合 計（1件）			4,200,000

④ その他（東日本大震災被災文化財救援・復旧支援事業）

本事業は平成24年度から実施しており、その中で宮城県気仙沼内湾地区国登録文化財等復興事業として6件の店舗等復元事業が行われ、4件は完了済みである。残りの2件も地盤嵩上工事が終了したことに伴い復元工事が着工・完了し、下記のとおり助成を行った。

No.	都道府県	指定	事業名	申請者	助成額
			【建造物】		円
1	宮城	国登録	気仙沼内湾地区国登録文化財等復興事業 （男山本店店舗）	気仙沼風待ち復興検討会 代表理事 菅原 千栄	22,500,000
2	宮城	国登録	気仙沼内湾地区国登録文化財等復興事業 （千田家住宅）	気仙沼風待ち復興検討会 代表理事 菅原 千栄	10,000,000
合 計（2件）					32,500,000

(5) シンポジウム等の開催事業、その他普及広報活動

文化財の保護及び芸術振興に関する啓蒙活動、国際交流、広報活動として広報誌の発行、文化交流フォーラムの開催、その他普及広報活動に関連し次の事業を行った。

① 広報誌「絲綢之路」の発行

第90号(2019-夏) 令和 元年 6月18日発行

第91号(2019-秋) 令和 元年10月21日発行

第92号(2020-新春) 令和 2年 1月24日発行

発行部数：各2,000部

配布先：都道府県教育委員会、美術館・博物館、文化財研究機関、芸術系大学
新聞社、支援者、賛助会員、理事・評議員、その他関係者に配布

② 日中韓文化交流フォーラムの開催

期間：令和元年11月13日(水)～16日(土)

会場：日本 東京都

行事：第15回日中韓文化交流フォーラム

テーマ：「音楽～アジアをつなぐ弦の響き」

③ 「第24回妙高夏の芸術学校」の共催

主催：妙高夏の芸術学校実行委員会

共催：(公財)文化財保護・芸術研究助成財団、妙高市、妙高市教育委員会

期間：令和元年7月26日(金)～7月29日(月)

参加者：日本画(16名) 油彩画(11名) 水彩画(13名)

水彩画入門(12名) 小学生(3名) 日帰りワークショップ(22名)

計77名

④ 第70回社会を明るくする運動「～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」に協力

主催：“社会を明るくする運動”中央推進委員会他

⑤ 講演会・シンポジウム・展覧会等の後援

ア) 第14回「文化財保存・修復―読売あをによし賞」を後援

主催：読売新聞社

後援：文化庁、大阪府教育委員会、独立行政法人国立文化財機構他

イ) セミナー「文化財保存修復を目指す人のための実践コース」を後援

主 催：特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

共 催：東京国立博物館

後 援：東京藝術大学、(公財)日本博物館協会、(一社)文化財保存修復学会他

ウ) 震災復興支援文化財救済活動チャリティー企画

第21回「文化人・芸能人の多才な美術展」(Entertainment Art Exhibition)

～広げよう文化の輪・芸術は地球を救う！～21周年特別展を後援

主 催：特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会
文化人・芸能人の多才な美術展実行委員会

後 援：文化庁、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟他

エ) 「アール・パレ京都第5回記念展」を後援

主 催：アール・パレ展実行委員会